

Hara Museum of Contemporary Art

現代美術に魅せられて 原俊夫による原美術館コレクション展

主催・会場＝原美術館 会期＝2018年1月6日〔土〕－6月3日〔日〕
前期：1月6日〔土〕－3月11日〔日〕／後期：3月21日〔水・祝〕－6月3日〔日〕
*展示替え休館：3月12日〔月〕－20日〔火〕



〔図版1〕草間彌生「自己消滅」1980年 ©Yayoi Kusama

■概要

原美術館は、1979年日本における現代美術館の先駆けとして開館しました。創立者・現館長の原俊夫は、現代美術の発展と国際交流に情熱を傾け、様々な展覧会を開催する一方、コレクション活動にも力を注いできました。本展は、ひとつひとつ丹念に収集した1950年代以降の絵画、立体、写真、映像、インスタレーションなど所蔵作品約1000点の中から、原が初めて自ら選びキュレーションするコレクション展示です。1970年代後半より80年代前半までの初期収蔵作品を主とする前期、企画展の開催などをきっかけに収蔵された作品を主とする後期の2期に分け、約40年に渡る原美術館の活動の一端を紹介します。

■開催によせて

日本に現代美術館を作ろうと40歳で思い立ち、作品の収集を始めた。それからは可能な限りアトリエや自宅を訪ねて作家と会い、海外にも赴いた。表現者が何を想い制作に至るか、作品を観るだけでなく直接話を聞くことで学び、私は自分の目でコレクションを築いてきた。この姿勢は現在まで貫いている。美術館の顔であるコレクションは、私の挑戦の軌跡でもある。ふと、自身の采配で展示したいという思いに駆られ、展覧会をキュレーションしてみることにした。とはいえ1000点以上の作品から選ぶのは容易ではない。前期と後期に分け、前期は母体となるアルカンシエール美術財団を設立した1977年から美術館を開館して間もない1980年代前半までの収集作品を中心に、後期は美術館の活動を通して出会い購入した作品群で構成する。

原美術館館長 原俊夫

■出品作家

【前期】 アメリカの作家では、戦後絵画に大きな影響を与えた抽象表現主義のジャクソン ポロックやマーク ロスコ、その後継世代を代表するロバート ラウシェンバーグやジャスパー ジョーンズ、世界を席卷したポップアートの代表者であるアンディ ウォーホルやロイ リキテンシュタインなど。そして、前衛的・実験的精神に溢れたヨーロッパの作家たちとして、絵画のジャン デュビュッフェやカレル アペル、彫刻のアルマン、セザール、ジャン ティンゲリーなど。日本の作家では、戦後日本美術を牽引した今井俊満、河原温、工藤哲巳、宮脇愛子など。また、今も現役で活躍する作家たちでは草間彌生、篠原有司男、杉本博司、李禹煥。さらに世界に影響を与えたアジアの作家として、ナム ジュン パイク、艾未未（アイ ウェイウェイ）。

【後期】 安藤正子、荒木経惟、ヤン ファーブル、加藤泉、ウィリアム ケントリッジ、森村泰昌、奈良美智、名和晃平、蜷川実花、野口里佳、マリック シディベ、杉本博司、東芋、ミカリーン トーマス、アドリアナ ヴアレジョン、やなぎみわ（予定・調整中）

*展示の内容は変更する場合がございます。詳細は後日ウェブサイトで発表します。

■原美術館とは

原美術館は、1979年に現代美術専門館の草分けとして、御殿山（東京都品川区）に誕生しました。現・公益財団法人アルカンシエール美術財団を母体に、現代美術を通じた国際交流の推進と現代美術の活性化、アーティストの支援の場として活動を続けています。原美術館の建築は、原俊夫の祖父である実業家・原邦造の邸宅として1938年に誕生、設計は東京国立博物館本館（上野）や和光ビル（旧服部時計店・銀座）を手がけた渡辺仁によるもので、日本におけるモダニズム建築、あるいは昭和初期の洋風建築の貴重な例の一つと言われています。年間3-4回の展覧会、講演会やパフォーマンスなど各種イベント、教育プログラムを運営しています。1988年には、別館として伊香保温泉（群馬県渋川市）近くに、世界的に活躍する建築家・磯崎新の設計によりハラ ミュージウム アークを開館、両館で多様な活動をしています。



■原美術館コレクションとは

1950年代以降の巨匠から今日の第一線で活躍する若手作家まで、世界の優れた現代美術作品を幅広く収集しています。原美術館とハラ ミュージウム アークそれぞれの建築や環境を活かして作られた常設展示作品や庭園を彩る野外立体作品も設置し、特徴のあるコレクションを形成しています。

■原俊夫プロフィール



1935年東京生まれ。学習院大学政治経済学部を卒業後、米プリンストン大学留学。1979年原美術館を設立し同館長に就任、現在に至る。88年、別館ハラ ミュージウム アークを設立。ニューヨーク近代美術館国際評議委員会副会長、ホノルル ミュージウム オブ アート名誉理事、公益財団法人日本博物館協会参与などを歴任。2017年フランス共和国レジオン ドヌール勲章オフィシエほか、受章多数。公益財団法人アルカンシエール美術財団理事長。

■会期中のイベント 追ってウェブサイトで発表します。

■開催要項

- 展覧会名： 現代美術に魅せられて一原俊夫による原美術館コレクション展
英語題名 “My Favorites: Toshio Hara Selects from the Permanent Collection”
- 会期： 2018年1月6日 [土] - 6月3日 [日] 開催日数=122日
前期：1月6日 [土] - 3月11日 [日]
【展示替え休館：3月12日 [月] - 20日 [火]】
後期：3月21日 [水・祝] - 6月3日 [日]
- 主催・会場： 原美術館
- 開館時間： 11:00 am-5:00 pm (祝日を除く水曜は8:00 pm まで/入館は閉館時刻の30分前まで)
- 休館日： 月曜 (祝日にあたる1月8日、2月12日、4月30日は開館)、1月9日 [火]、
2月13日 [火]、3月12日 [月] - 20日 [火]、5月1日 [火]
- 入館料： 一般1,100円、大高生700円、小中生500円/原美術館メンバーは無料、学期中の土曜日は小中高生の入館無料/20名以上の団体は一人100円引
- 交通案内： JR「品川駅」高輪口より徒歩15分/タクシー5分/都営バス「反96」系統「御殿山」停留所下車、徒歩3分/京急線「北品川駅」より徒歩8分

*日曜・祝日には当館学芸員によるギャラリーガイドを実施 (2:30 pm より 30分程度)

原美術館

住所 東京都品川区北品川4-7-25 〒140-0001

Tel 03-3445-0651 (代表) E-mail info@haramuseum.or.jp

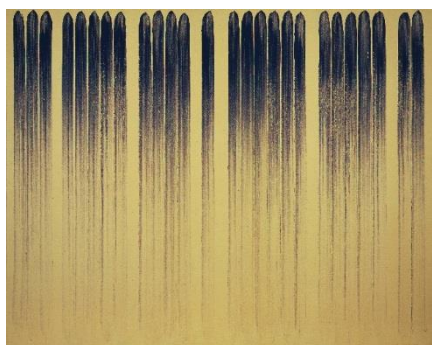
ウェブサイト <http://www.haramuseum.or.jp> ブログ <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum>

携帯サイト <http://mobile.haramuseum.or.jp> Twitter <http://twitter.com/haramuseum>

■広報用図版

下記よりご希望の図版の番号をお申し付けください。掲載時はトリミングや文字載せはご遠慮ください。また必ずクレジットをご記載ください (素材技法、サイズ表記は省略可能です・[図版1]は1ページにあります)。

【前期 出品作品】(1月6日 [土] - 3月11日 [日])



[図版 2]



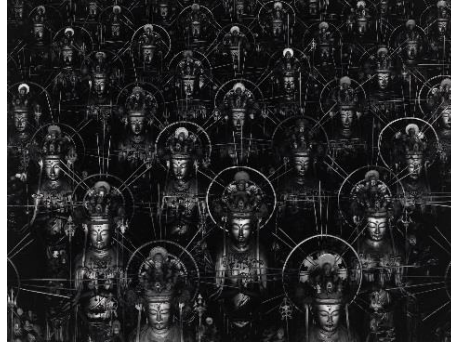
[図版 3]



[図版 4]



【図版 5】



【図版 6】 *この作品は後期にも出品されます。

【後期 出品作品】 (3月21日 [水・祝] -6月3日 [日])



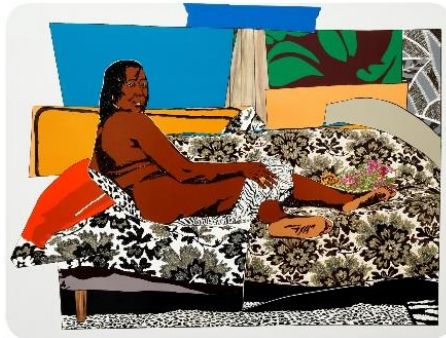
【図版 7】



【図版 8】



【図版 9】



【図版 10】



【図版 11】

【図版 1】 草間彌生「自己消滅」1980年 ミクストメディア サイズ可変 ©Yayoi Kusama

【図版 2】 李禹煥「線より」1979年 カンヴァスに顔料 181 x 227 cm ©Lee Ufan

【図版 3】 今井俊満「黒い太陽」1963年 カンヴァスに油彩 195.1 x 129.8 cm

【図版 4】 ナム ジュン パイク「キャンドルテレビ」1980年 テレビ、ろうそく 33 x 41 x 24 cm

【図版 5】 篠原有司男「モーターサイクルママ」1980年 カードボード、アクリル絵具、ポリエステル樹脂 117 x 130 x 66 cm ©Ushio Shinohara

【図版 6】 杉本博司「仏の海」より 1995年 ゼラチンシルバープリント 50.8 x 61 cm ©Hiroshi Sugimoto
Courtesy of Gallery Koyanagi

【図版 7】 加藤泉「無題」2007年 木、アクリル絵具、木炭、シリコン、椅子 95 x 65 x 45.5 cm ©Izumi Kato

【図版 8】 奈良美智「Eve of Destruction」2006年 カンヴァスにアクリル絵具 117 x 91 cm ©Yoshitomo Nara

【図版 9】 蜷川実花「PLANT A TREE」2011年 C プリント 48.5 x 72.8 cm ©mika ninagawa Courtesy of Tomio Koyama Gallery

【図版 10】 ミカリーン トーマス「Mama Bush : One of a Kind Two」2009年 パネルにラインストーン、アクリル絵具、エナメル塗料 274.3 x 365.8 x 5.1 cm ©Mickalene Thomas

【図版 11】 アドリアナ ヴアレジョン「スイミングプール」2005年 カンヴァスに油彩 110 x 140 cm ©Adriana Varejaõ

取材・図版提供などのお問い合わせ先：原美術館広報 松浦、野田
Tel 03-3280-0679 Fax 03-5791-7630 E-mail press@haramuseum.or.jp
(いずれも広報直通／掲載時には代表番号・アドレスをお用ください)